

くくりわな講習会開く

天城湯ヶ島山葵組合は3月4日、くくりわなの講習会を湯ヶ島支店で開きました。同組合はシカやイノシシなどによるワサビへの被害対策で捕獲隊を立ち上げ活動しています。

講習会では、隊員が持ち寄ったくくりわなの部品交換作業を先輩生産者から若手生産者に指導しながら行いました。隊長を務める安藤智久さんは「しっかりメンテナンスをして、安全に気を付けて捕獲し、自分たちのワサビを守っていききたい」と話していました。



生産者同士で教え合いながら部品を交換



当JAが信用事業で優れた業績を上げたとして受賞

JA伊豆の国が全国優績JAに

農林中央金庫は3月上旬に、「JAバンク2019年度優績JA表彰」を受賞する全国42のJAを公表し、JA伊豆の国が選ばれました。これは、信用事業において優れた業績を上げたJAを対象に表彰しているものです。

2月にJAバンク全国大会で表彰式が開催される予定でしたが、新型コロナウイルスの影響で中止となったため、3月12日に静岡県信連の天野宗彦専務が当JA本店を訪れ、鈴木正三組合長に表彰状が手渡されました。



テープカットを行う鈴木組合長(左から3人目)ら

移動金融店舗を稼働開始

JA伊豆の国は、2トントラックをベースに金融業務用の窓口端末機を搭載し金融サービスを提供する「移動金融店舗」を4月1日から新たに導入しました。

店舗統合を行った地域の皆さまの利便性の維持や巨大災害発生時には店舗機能を失った支店管内への派遣などを目的に導入。修善寺地区を曜日ごとに巡回し、普通貯金の入出金や通帳の帳・繰越などを取り扱っています。

3月26日には本店で開店式を開き、鈴木正

三組合長ら役職員、農林中央金庫静岡営業所の志野英樹所長らが出席。テープカットや車内内覧を行いました。鈴木組合長は「移動金融店舗は、店舗統合地域の利便性の維持や今後予測される災害発生時に活用するために導入しました。ご不便をおかけする皆さまに少しでもお役に立てるよう努力していきます」とあいさつしました。

なお、5・6月の移動金融店舗の巡回日は15ページをご覧ください。

新入職員7人がJAに入組

JA伊豆の国は4月1日、令和2年度新採用職員入組式を本店で開催し、7人の新入職員が入組しました。

鈴木正三組合長は「JAは若いバイタリティ溢れる職員を必要としています。今持っているJA職員としての目標や希望、夢を大切に、その実現に向けて進んでいってください」と激励しました。



新採用職員誓いの言葉

一日も早く
職場の
雰囲気慣れ、
全力で仕事に
取り組んで
参ります

高橋さんがグランドチャンピオン

第51回静岡県ブラックアンドホワイトショウが3月15日、長泉町の経済連三島常設家畜市場で開かれました。当日は新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策をとって行われました。

未經産牛・経産牛で15部門に分かれて県内から約50頭が出品。審査の結果、最高位の総合1位・グランドチャンピオンに大仁地区の高橋実徳さんの乳牛が見事選ばれました。高橋さんはその他の未經産牛・経産牛の部でも多数入賞されました。おめでとうございます。



鈴木組合長(右)が佐藤教育部長に贈呈

令和2年度 新採用職員入組式

令和2年度新入職員

▶前列:左から ()かっこ内は配属先

潮木 遥(菰山支店)
後藤 虹南(南部支店)
横田 菜(長岡支店)

▶後列:左から

鈴木 英人(修善寺営農センター)
中村 亮太(江間支店)
細谷 祥太(修善寺営農センター)
松本 陽太(菰山営農センター)



「組合員・地域の皆さまのお役に立てるよう頑張ります」



グランドチャンピオンに選ばれた高橋さん

小学5年生に食農教材本を贈呈

JAバンクは、子どもたちが食・環境と農業への理解を深めるための補助教材本「農業とわたしたちの暮らし」を、毎年全国の小学校へ贈呈しています。当JAでは、今年度管内の全小学5年生に合計763部を贈呈しました。

4月1日には鈴木正三組合長が伊豆の国市教育委員会を訪れ、佐藤政志教育部長に目録と教材本を手渡しました。鈴木組合長は「農業や食への理解を深めるためにぜひ活用してください」と話していました。